

一般社団法人ファイナンシャル・アドバイザー協会 御中

IFAコンプラ検査共通化のご提案

2022年1月7日

株式会社だいこう証券ビジネス
ソリューション営業一部

はじめに

貴協会ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼を申し上げます。

この度は、弊社に提案の機会を賜り、誠に有難うございます。

本プレゼンでは、貴協会にて実施されております「IFAコンプライアンスチェックの目線合わせ」について、以下のサービス（案）のご提案をさせていただきます。

- IFA検査の共通化サービス

本内容をご高覧の上、ご高配賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

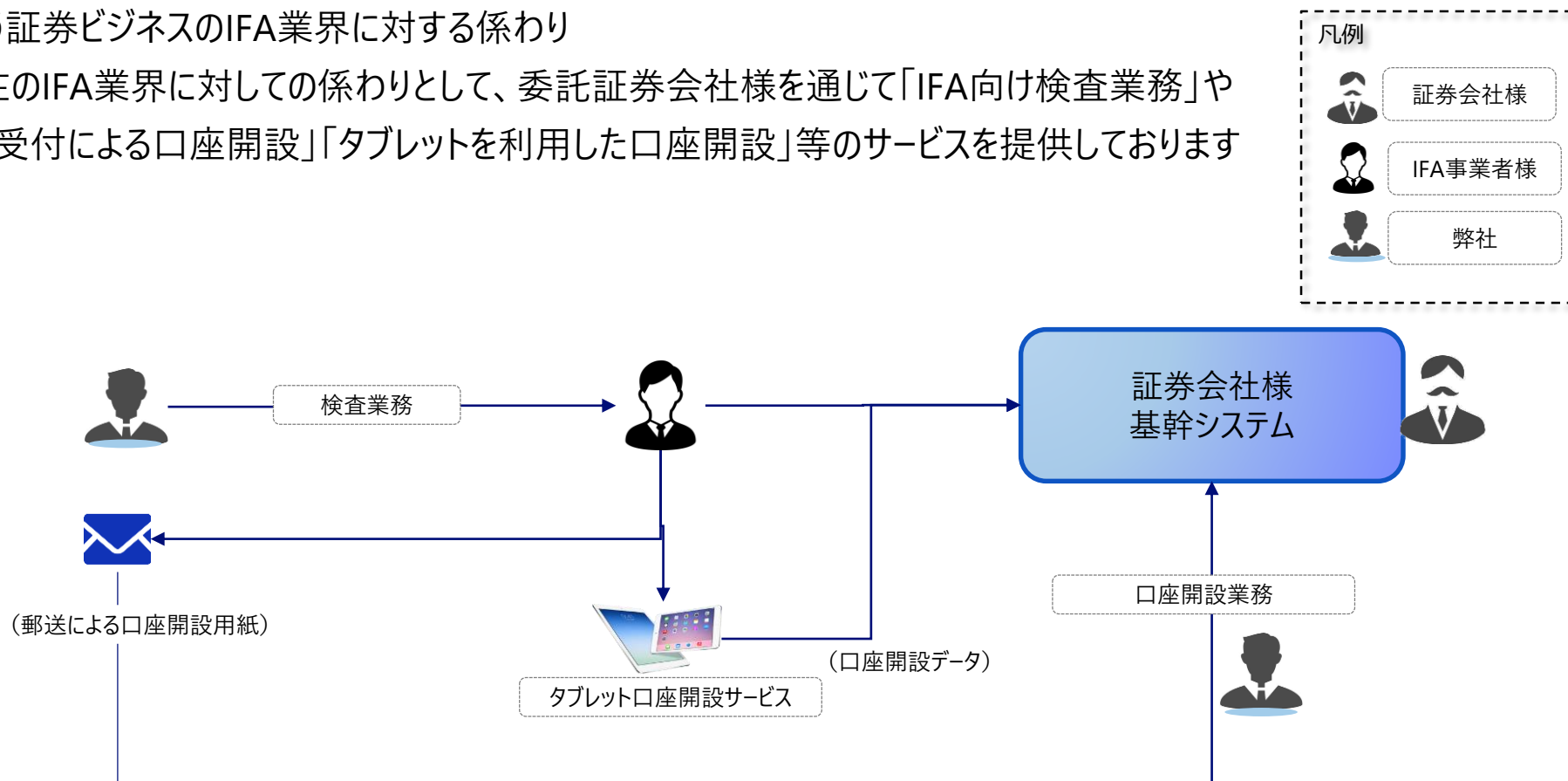
弊社事業のご紹介

■ だいこう証券ビジネスの事業

主に証券会社様・金融業界向けに、バックオフィス業務・金融商品取扱業務・監査支援業務・メーリング業務等幅広い支援を行っております

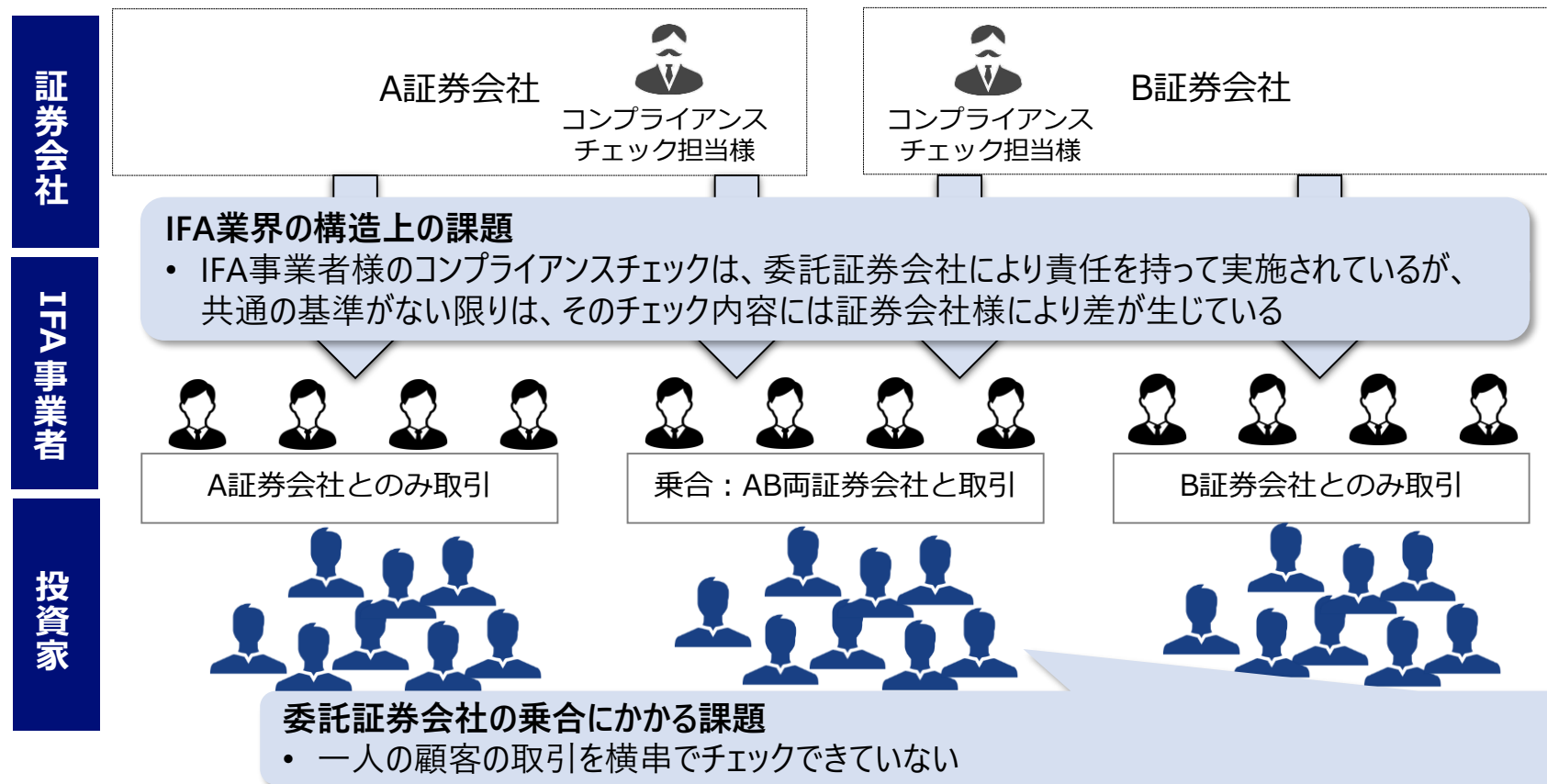
■ だいこう証券ビジネスのIFA業界に対する係わり

現在のIFA業界に対しての係わりとして、委託証券会社様を通じて「IFA向け検査業務」や「紙受付による口座開設」「タブレットを利用した口座開設」等のサービスを提供しております



弊社が認識するIFA業界の課題 ①さらなる投資家保護の必要性

- IFA業界においては現状、コンプライアンスチェックにかかる共通の基準がないため、証券会社様各社の基準でチェックされており、その内容には差が生じているとお聞きします
- 加えて、証券会社様各社でチェックが実施されているため、乗合利用しているIFA事業者様は、顧客の取引を自ら（工夫して）横串で把握する必要があるとお聞きします
- 投資家保護、業界の健全な発展を考える上では、共通の目線があることが望ましいと考えます



弊社が認識するIFA業界の課題 ②コンプライアンスチェックにかかる業務負荷の増大

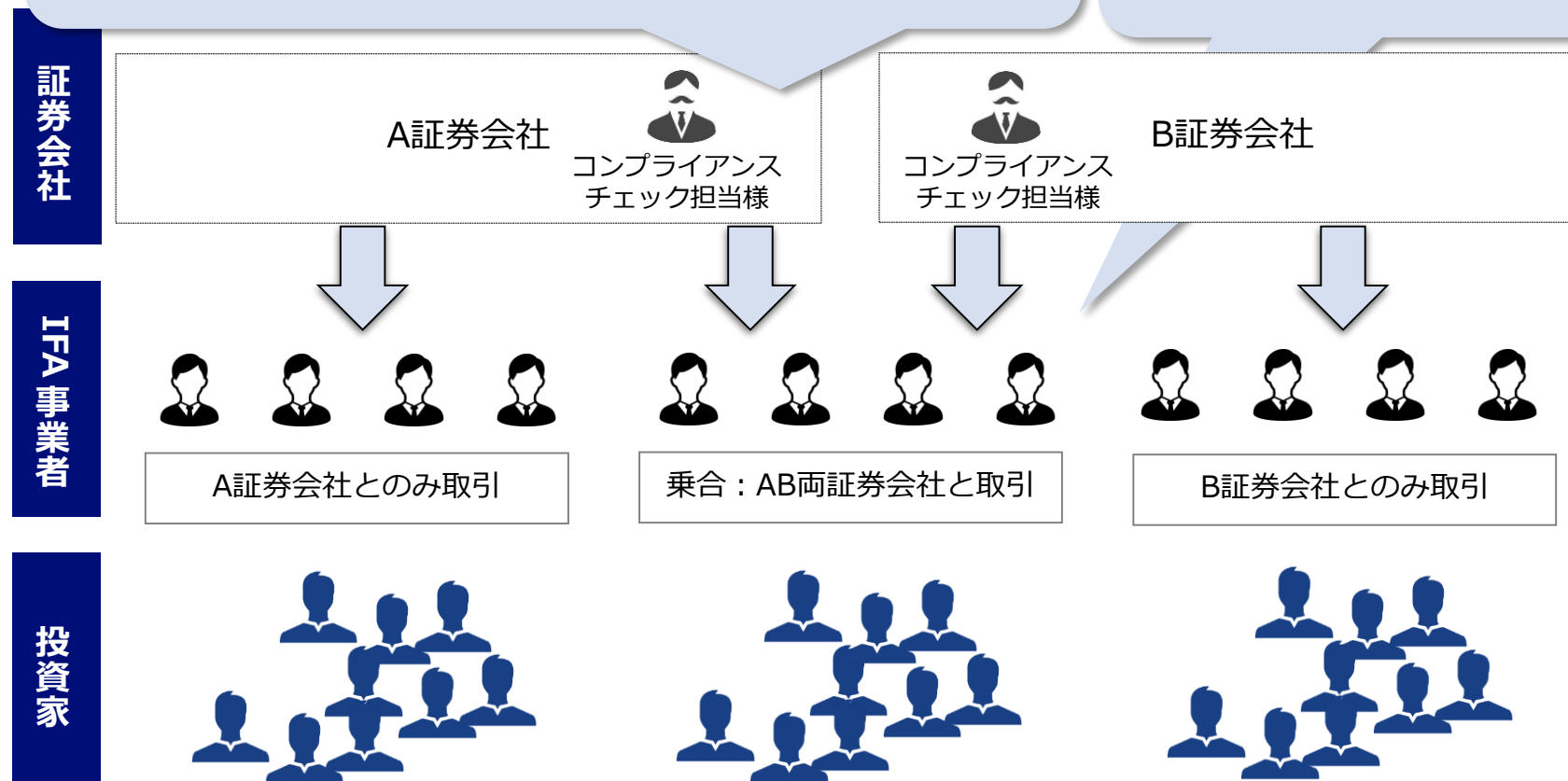
■ IFA外務員数の増加等から考え、業務負荷は増大傾向にあるとお聞きします

証券会社の業務負荷にかかる課題

- IFA事業者・乗合しているIFA事業者の増加により、証券会社様のコンプラ負荷が高まっている（乗合の場合、複数の証券会社が同じIFA事業者を検査を行っているため、全体最適になっていない）

IFA事業者の業務負荷にかかる課題

- 証券会社ごとに、別々の検査を受ける必要があるため、IFA事業者にとって負荷が高い



■ 弊社が認識するIFA業界の課題 FA協会の取り組み（弊社の理解）

■ 貴協会では、以下の活動を実施されていると伺っております

- 関係各社様による自主的な会合にて、統一の可否を含め、検討されている
- 現状は、各社様の管理レベルの情報共有と意見交換を実施しており、業界標準の策定を次のステップとして検討されている

(1)投資家保護の更なる担保

・1.各証券会社様にて責任をもってコンプライアンス関連業務を実施されているが、そのチェック内容には差があるため、「利益追求の観点からよりチェックの緩い方へIFA業者の取引が流れてしまう懸念がある(*1)」

・2.IFA事業者様が証券会社様乗り合いの取引を行う際、複数証券会社様を通したチェック手段がない

(2) 業務負荷増大への対策

・1.IFA外務員数の増加、それによる証券会社様によるコンプライアンス関連業務負荷の増大

・2.IFA事業者様による証券会社様乗り合いが進む傾向、それによるIFA業者様自身のコンプライアンス関連業務負荷の増大

IFAコンプライアンスチェック業界標準化を、可否含め検討

(*1)貴協会2021/12/17セミナー『コンプライアンス管理高度化に向けて』発表資料内容より

現状のコンプライアンスチェック業務

- 現状、証券会社様とIFA事業者間で行われているコンプライアンスチェックは勧誘申請、モニタリング、検査があると認識しております

リアルタイムチェック

IFA事業者様における勧誘の申請・決裁
および事前チェック管理

勧誘予定取引チェック

申請前に勧誘予定取引を登録し、ルール
との整合性をチェック

申請・決裁管理

業務フローに従い業務が実施されているか
履歴を管理



事後チェック

証券会社コンプライアンス部門様における
モニタリング業務

各種モニタリングチェック

各種ルールの実施状況のモニタリングおよ
び、モニタリング結果のレポート

IFA事業者様・コンプラ部門様にてレポート
結果・顧客注文データを元にモニタリング

モニタリング履歴管理



検査

証券会社コンプライアンス部門様における
検査業務

検査指示による確認/レポート作成

必要な顧客属性・注文などを検索・ダウ
ンロードし、検査を実施

検査記録・履歴の管理



チェック
内容・業務

チェック
方法

システム・
データ

高齢者

取引管理

営業姿勢

インサイダー

顧客管理

書類管理

アフター
フォロー

AML

...

システムチェック

EUC

ハンド

顧客

契約

約定

預り

入出金

入出庫

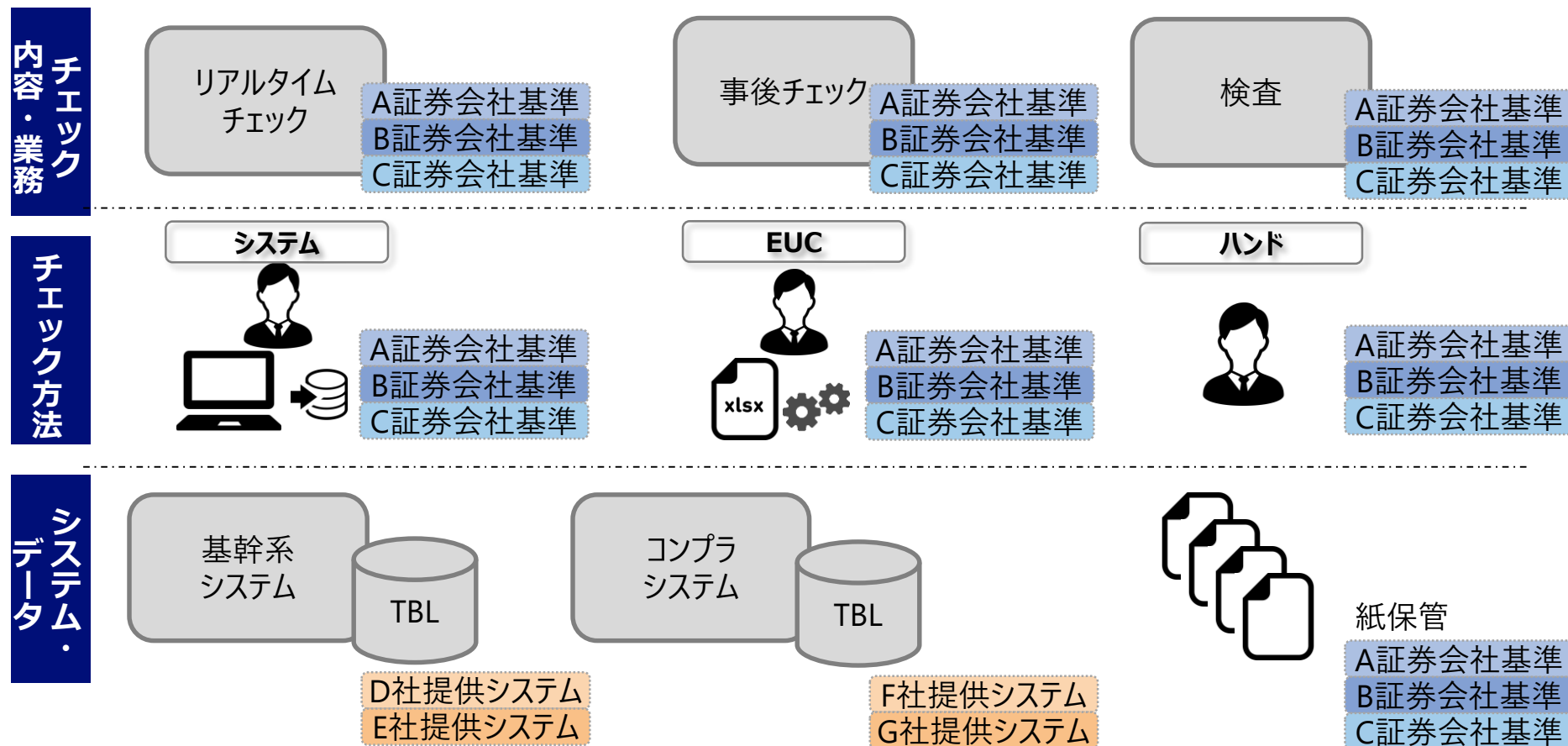
CRM

通話録音

...

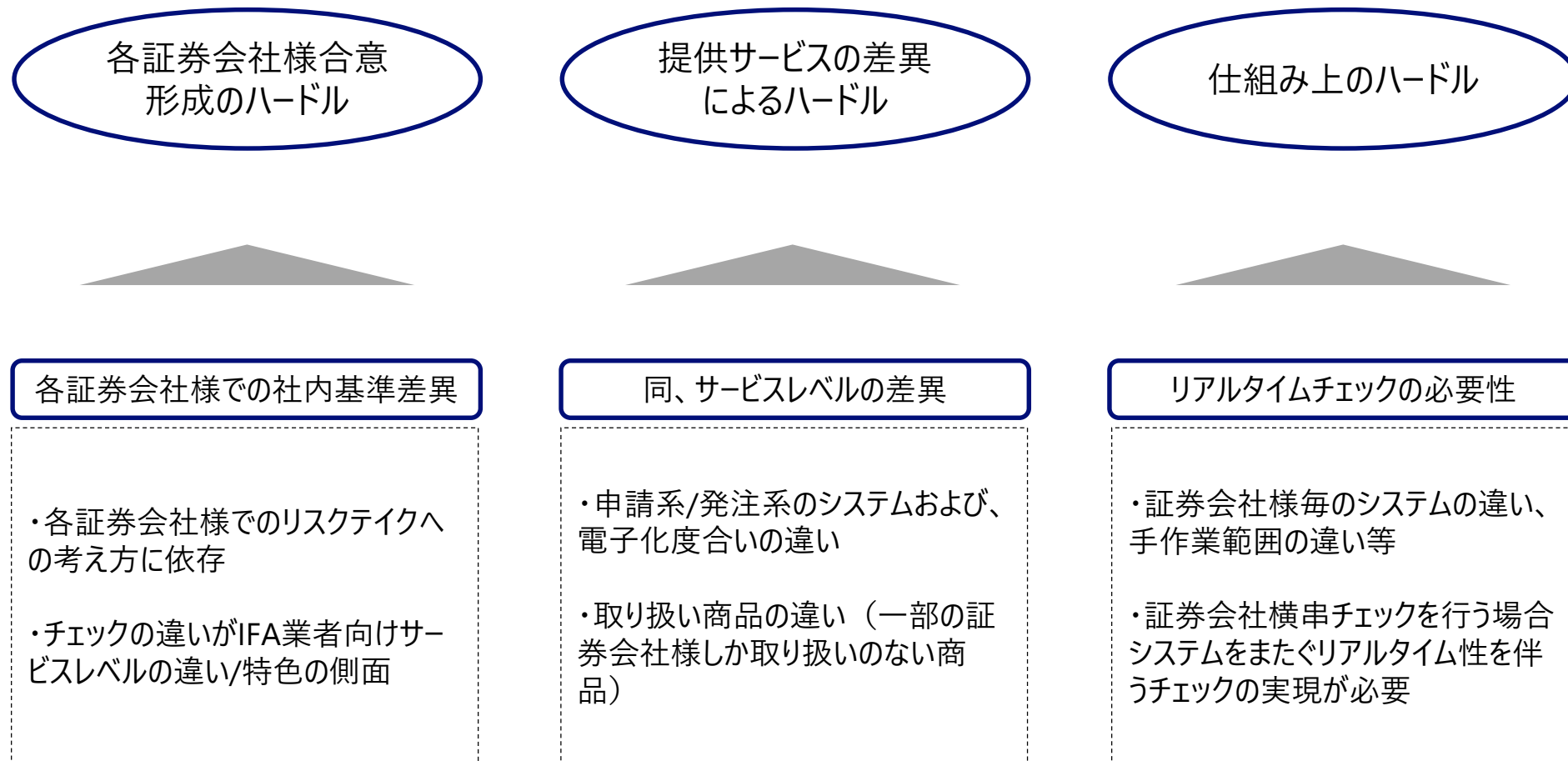
現状のコンプライアンスチェック業務・システムに関する認識

- 各証券会社様にて異なる基準/仕組みでのチェックを実施されていると認識しております



検討を進める上での3つのハードル（弊社認識）

■ 現状の仕組みを前提として検討を進めるにあたり、以下のようなハードルがあると想定されます

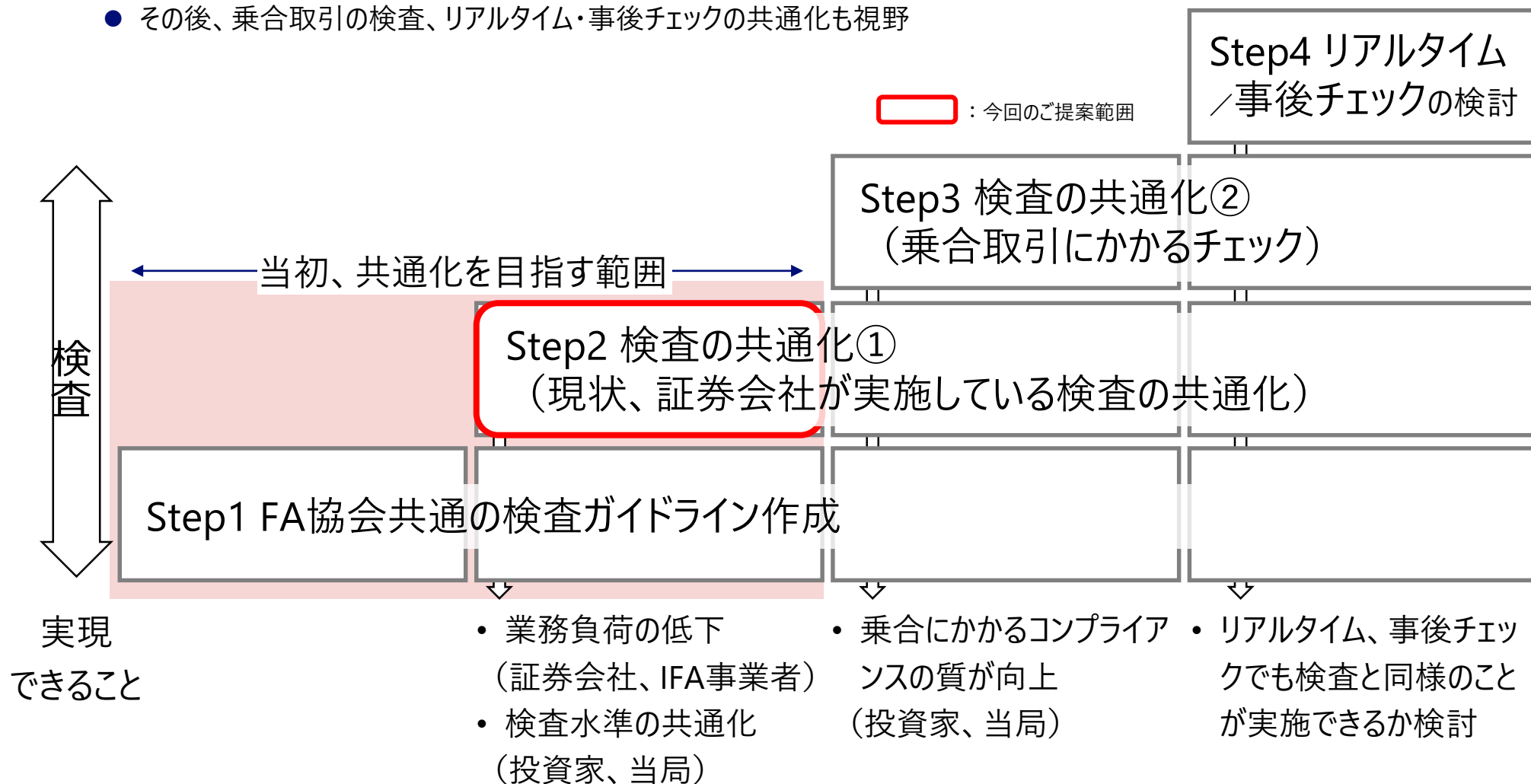


～IFA検査の共通化サービスのご提案～

検査の共通化をファーストステップとした実現方法

■ 前頁のハードルを踏まえ、以下のような段階を踏んだ実現の方法が考えられます

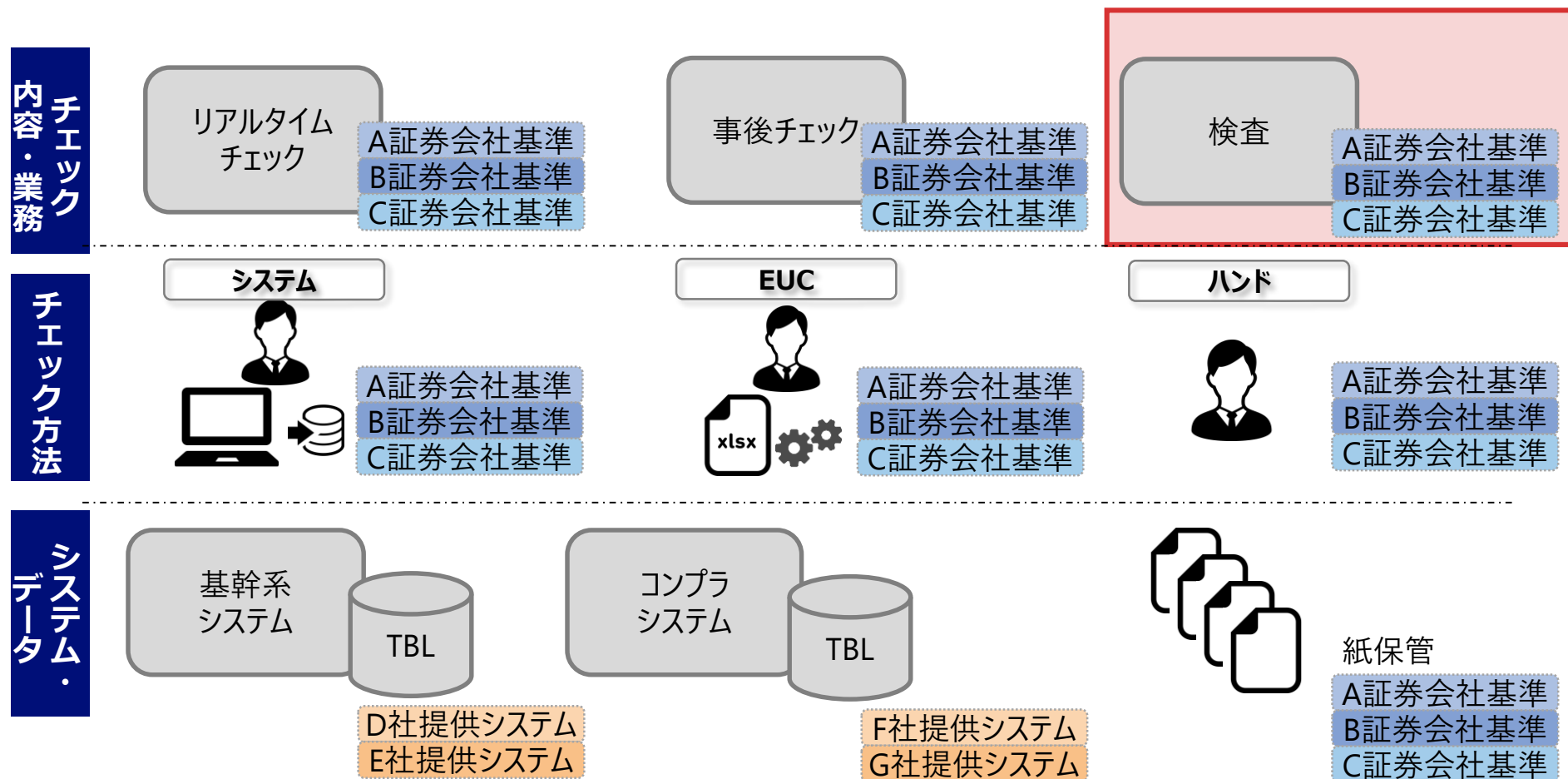
- まずはFA協会共通の検査ガイドラインの作成と、現状、証券会社が実施している検査の共通化を目指す
- その後、乗合取引の検査、リアルタイム・事後チェックの共通化も視野



～IFA検査の共通化サービスの提案～

ファーストステップとして選択する上で適している “検査” 箇所

- 現在の業務・仕組みから考え、リアルタイム性を求められない・共通化による作業集約が見込める等、ファーストステップに適した箇所と考えます



～IFA検査の共通化サービスの提案～ 実現イメージ

- 検査項目や訪問タイミングなどを証券会社様同士で共通とし、合同的に実施することを想定しております
- 必要な基幹系データは一か所にあつめ、上記の業務に使用します

現状

目指す姿（当初）

証券会社

A証券会社

B証券会社

C証券会社



現状は、証券会社各社が、各IFA事業者
各社の基準でバラバラに検査

IFA事業者

IFA事業者①
A証券のみ

IFA事業者②
乗合（A証券、
B証券）

IFA事業者③
乗合（B証券、
C証券）

IFA事業者④
C証券のみ



証券会社

A証券会社

B証券会社

C証券会社



各社に報告

提案範囲

IFA検査/点検の共通化サービス



FA協会共通のガイドライン／基準



各社のデータを集約

共通の基準で各IFA事業者 1回で検査

IFA事業者

IFA事業者①
A証券のみ

IFA事業者②
乗合（A証券、
B証券）

IFA事業者③
乗合（B証券、
C証券）

IFA事業者④
C証券のみ



検討のための必要事項

- 本件を進めるにあたり、今後、以下のような課題が多く発生するかと想定しております
- 貴協会にて引き続きご検討頂くとともに、弊社も微力ながら業務委託/システム構築の観点（第三者の委託先として）で解決へ向けた貢献ができればと考えております

検討事項	課題点	想定される解決案
1：統一基準の定め方について	・各社ごとに取扱い商品等が異なるが どのように統一基準を定めるか	・統一基準制定は貴協会にてご検討が必要
2：管理システムについて	・検査データを、どのようにして共有化し検査に 利用するのか	・検査データ統一用のシステムを構築 ・構築したシステムを第三者の委託先限定で 統一データを閲覧できる仕組みを提供する ことは可能
3：検査実施の調整	・貴協会にて取りまとめをするのか ・各社の裁量で他の証券会社とタイミングを 合わせるのか	・第三者の委託先にて契約を証券会社様と 事前に締結しておくことで、スケジュールを組 み立てることが可能
4：費用負担について	・2社以上の委託証券会社での共同検査と なるため、費用負担の切り分けが困難	・第三者へ委託することで、単純な業務委託 として対応が可能
5：検査結果について	・共通検査結果で判明した事象に対する対応 はどうか - 共通検査をした証券会社両社か - 責任証券会社1社の責任か	・各証券会社とIFA業者間で取り決めの通り、 事象の対象となっている口座を保有している 証券会社が対応を行います。

クオリティ・ソーシング

DSB